平成 22 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 21 年度分に係る評価)

事業コード

32202102

【1枚目】

001100601

事務事業名。市民スポーツ大会・教室実施事業	部 名 等 教育	『委員会事務局	政策の柱第3章 人・	文化を	育むまち		会計一般会計			
予 算 書 の 事 業 名 7. 市民スポーツ奨励事業	課 名 等 生涯学	学習・スポーツ課	政 策 名第2節 地域	域に根ざした文化とスポーツの振興			款 10. 教育費			
事業期間 開始年度 不明 終了年度 当面継続 業務分類 5. ソフト事業	係 名 等	スポーツ係	施 策 名 2. 生涯スポ	ーツ社	会の推進		項 6. 保健体	育費		
実 施 方 法 ○ 1. 指定管理者代行 ● 2. アウトソーシング ○ 3. 負担金・補助金 ● 4. 市直営	記入者氏名	片山伸二	区 分スポーツへの	参加機	会		1. 保健体	育総務費		
	電話番号 0	765-23-1046	基本事業名が充	クリエ	ーションの参加	・活動機会の				
			孤 允							
◆事業概要 (どのような事業か)					実	績		計画		
スポーツ参加機会の提供 〇市民スポーツ大会の委託 16大会(19年度までは18大会委託)				単						
│ ゴルフ、テニス、軟式野球、剣道、ラグビー、ソフトボール、柔道、サッカー、弓道、バレーボール、フレッシュテ=	ニス、卓球、バドミント	ン、ビーチボール	、ティーボール、パークゴ	位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
ルフ <u>〇市民スポーツ教室の委託</u>										
(この事務事業は、誰、何を対象にしているのか。※人や物、自然資源など)		① 市の人口		人	46, 036	45, 562	45, 000	45, 000	45, 000	
・スポーツを愛好する市民と競技スポーツ実践者 ・スポーツ大会・教室の数	対			ļ						
対 象	⇒ 第	② スポーツ大会・	・教室の数	回	17	17	17	17	17	
	標									
		3								
<平成21年度の主な活動内容>		 大会参加者数 		人	3, 100	3, 150	3, 200	3, 200	3, 200	
ア. 市民スポーツ大会の委託 16大会(相撲、綱引きは都合により実施しなかった):ゴルフ、テニス、軟式野球、賃ビー、相撲、ソフトボール、柔道、サッカー、弓道、バレーボール、フレッシュテニス、卓球、バドミントン、ビー	剣退、フク	· /\Z 9 / 1 - 5		^	0, 100	0, 100	0, 200	0, 200	0, 200	
手 ティーボール、パークゴルフ イ. 市民スポーツ教室の委託 スキー教室3回実施 数 *平成22年度の変更点	動	② 教室参加者数		人	145	173	150	150	150	
スポーツ大会・教室、及びスポーツ大会開催助成を全て含めて魚津市体育協会に委託。	標			}						
		3)								
(この事務事業によって、対象をどのように変えるのか)		① 第1回以 L z #	ーツをする市民の割合	%	23, 70	23, 70	35.00	40.00	40.00	
大会・教室を開催することで定期的にスポーツ活動を実践する市民をお増やす。	成	① 週1回以上入小	一クをする市民の割合	%	23. 70	23. 70	35.00	40.00	40.00	
意	甲	2								
	標	_								
		3								
- 大麻策の目指すすがた>	↑成	果指標が現段階で	取得できていない場合、その耳	取得方法	去を記入					
市民の誰もが気軽にスポーツを親しみ、健やかに生きがいを持って暮らす										
結										
◆この事務事業開始のきっかけ (何年〈頃〉からどのようなきっかけで始まったか)		(1)	国・県支出金 (**	千円)	0	0	0	0	0	
不明		財用		千円)	0	0	· ·	0	0	
		内 (3)		千円)	0	0	0	0	0	
		訳 (4)	一般財源 (音	千円)	490	490	1, 000	1, 000	1,000	
		A. 予	算(決算)額((1)~(4)の合計) (年	千円)	490	490		1, 000	1, 000	
◆開始時期以後の事務事業を取り巻く環境の変化と、今後予想される環境変化(法改正、規制緩和、社会情勢の変化な)		- N		(人)	2	2	_	2	2	
ア.各種スポーツの増加 イ.スキー教室は市外で実施 ウ.競技スポーツ離れ(健康、レクリエーション志向の増加) ジュニア水泳教室)はH16で廃止、H20に市長杯争奪相撲大会、市綱引き大会を廃止	エ. 2教室(さわやかり)	© 7 D.	1 // 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1	時間)	120	120		120	120	
				千円)	505 995	505 995		505 1, 505	505 1, 505	
				十円)	4, 205	4, 205		4, 205	4, 205	
◆市民や議会などからの要望・意見(担当者の私見ではなく、実際に寄せられた意見・質問などを記入)					いる内容又は把拠			1, 200	1, 200	
スキー教室は市外住民からも参加申し込みの問合せが多い		· ·	市民	スポー	ツ大会;市長杯の	の冠大会(16大会	会)の継続であり、	他市の実施状況	とは比較にな	
		()把握している → らな!	いため	把握していない。					
			● 把握していない							

部・課・係名等 コード 1

08030300

政策体系上の位置付け

コード2

322012

予算科目

コード3

【目的妥当性の評価】

1. 施策への直線	洁度	(事務事業の施策の目指すすがたに対する直結度 (対象・意図の密接度) とその理由説明)						
● 直結度大	-	スポーツ大会の開催:ニュースポーツの導入で広く市民が参加しやすい大会もあり、競技者の増加につながる。(しかし、内容						
直結度へ直結度中		説 や実態等を検討し、種目の廃止、継続、新規追加等を協議することが必要)						
		明った。一切教会の関係(フェー2回)、初心老太社会に実施してかけるポーツトロの増加につかがる						
○直結度小	Ne let	スポーツ教室の開催(スキー3回): 初心者を対象に実施しておりスポーツ人口の増加につながる。						
2. 市の関与の妥当性(民間や他の機関でも実施可能な事務事業か)								
○ 法令など	により	7 市による実施が義務付けられている						
	○ 法令などによる義務付けはないが、、公共性が非常に高く、民間(市民・企業等)によるサービスの実施が不可能(又は困難)なため、市による実施が妥当							
○ 民間でも[*]	サート	ごス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実施が妥当						
● 市が実施	してい	いるが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小(廃止)が妥当						
○ 既に目的	を達成	 支しているので、市の関与を廃止が妥当						
根拠法令等を記	入							
3. 目的見直しの	余地	(現状の【対象】と【意図】は適切か、また、見直す場合、その理由と内容を説明)						
	3	現状の対象と意図は適切であり、見直しの余地なし。						
なし	説明							
【有効性の評	Tr Ame							
<u> </u>								
4. 成果同上の余		成果の向上が今後どの程度見込めるか説明) 内容や実態等を調査し、種目の廃止、継続、新規追加等について幅広く検討						
	<u>'</u>	付谷で夫忠寺で副官し、悝日の廃止、統統、利戍迫川寺について幅広(快記)						
あり	説							
357	明							
5. 連携すること	で、	今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無 (どう効果が高まるか説明)						
	2	22年度よりスポーツ大会開催助成事業と連携することで経費面の削減が可能。						
	説							
あり	明							
「お求州の証句	m: 1							
【効率性の評価		16 / 7 印ま アナニック 「古楽典を始けるされ」と発用。 ベネムン (四上を発用)						
6. 事業質の削減		地(手段を工夫することで、事業費を削減できないか説明、できない理由も説明)						
	-	内容や実態等を調査し、不人気な種目の廃止、継続、新規追加等について幅広く検討						
あり	説							
357	明							
7. 人件費の削減	咸の身	会地(今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、できない理由も説明)						
	2	22年度より体育協会に全面委託することにより、大幅な人件費削減が可能。						
	説							
あり	明							
「ひずみずっ」	1							
【公平性の評価】		ルの人は(関土の日本)かれ人奴攻小に放える)						
		化の余地(過去の見直しや社会経済状況等から)						
特定受益者あ		大会、教室の参加に対しては、参加料などの応分の負担がある						
り・負担あり	説	各大会、教室に占める補助金額は、小さい						
適正化の余地なし	明							
9. 本市の受益者	負担	の水準(県内他市と比較し、今後のあり方について説明)						
○ 高い		広く市民が気軽に参加できる事業として、						
	説	支払われる参加費は、保険料、施設利用料など実費程度を基本とした金額であり、平均的かつ適正である。						
● 平均	明							
○ 低い								

【必要性の評価】

④ 公平性

(2) 今後の事務事業の方向性

○ 目的見直し● 事務事業のやり方改善

● 適切

○ 現状のまま (又は計画どおり) 継続実施

○ 終了 ○ 廃止 ○ 休止 ● 他の事務事業と統合又は連携

1	0.	社会的ニーズ (この事務事業にどれくらいのニーズがあるか)											
Ī		○ 全国的又は広域	的な課題であり)、ニーズが非常に高い									
		○ 市固有の課題であり、なおかつ市民などのニーズが非常に高い											
		○ 比較的多くの市民などがニーズを感じている											
	○ 一部の市民などに、ニーズがある												
		○ 一部の市民など	に、ニーズがま	らるが、それが減少しつつある									
		● 目的はある程度	達成されている										
		○ 上記のいずれに	も該当しない										
1	11.	事務事業実施の緊急	.性										
Ī		○ 緊急性が非常に高い											
		○ 緊急に解決しな	ければ重大な過	3失をもたらす									
		○ 市民などのニー	ズが急速に高ま	こっている こうしゅう									
		● 緊急性は低いが、	、実施しなけれ	ιば市民生活に影響が大きい									
		○ 緊急性が低く、実施しなくても市民サービスは低下しない											
,	*	▼ 評価結果の総括と今後の方向性											
	(:	(1) 評価結果の総括											
	① 目的妥当性 ● 適切 ○ 目的廃止又は再設定の余地あり												
		② 有効性	適切	● 成果向上の余地あり									
		③ 効率性	適切										

○ 受益者負担の適正化の余地あり

★改革·改	善案(いつ、どのような改革・改善を、どういう手段で行うか)	コストと成果の方向性
	魚津市体育協会や競技団体と大会、教室の見直し等について協議が必要。	コストの方向性
	平度 F成23 度)	維持
定時	種目の廃止、継続、新規追加等による事業の絞込み	成果の方向性
期中・手	長期的 ~ 5 間)	向上

年度

★課長総括評価(一次評価)	
市民スポーツ大会は、スポーツ振興策として必要であるが、各スポーツ大会の実態を調査し、競技種目の見直しも含め検討を要する。また、スポーツ教室についても、行政の関わり方を含め検討を要する。	二次評価の要否
	不要

平成 22 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 21 年度分に係る評価)

【1枚目】

事 業 コード 32201302	部·課·係名	等 コード1	08030300	政策体系上	の位置付け	コード2	322012	予算科目	コード3	001100601
事務事業名 市民体育大会・県民体育大会事業	部名	等 教育委員	会事務局	政策の柱第:	3章 人・文化	ヒを育むまち		会計一般会計		
予 算 書 の 事 業 名 市民体育大会・県民体育大会事業	課名	等 生涯学習・	スポーツ課	政 策 名第:	2節 地域に	艮ざした文化とスオ	ペーツの振興	款 10. 教育費		
事業期間 開始年度 平成21年度 終了年度 平成22年度 業務分類 5. ソフト事業	係名	等 スポー	ーツ係	施 策 名 2.	生涯スポーツ	ソ社会の推進		項 6. 保健体	育費	
実 施 方 法 ○ 1. 指定管理者代行 ● 2. アウトソーシング ● 3. 負担金・補助金 ● 4. 市直営	記入者氏	名 片山	伸二	区 分ス7	ポーツへの参加	n機会		1. 保健体	育総務費	
	電話番	号 0765-2	3-1046	基本事業名 拡き		ノエーションの参加	ロ・活動機会の			
				100.2) <u>L</u>					
◆事業概要(どのような事業か) ○主民は充土会の関係、主民につず、いた業界、振恩し、ショの原序性がには土の増進界が発生したのは、原子と思い	たとこの世帯には	2 : + 7 = 1.+ 0.6	は、子明度)	早績		計画	
〇市民体育大会の開催:市民にスポーツを普及・振興し、心身の健康並びに体力の増進及び競技力の向上を図り、明るく豊か ア.夏季大会:19種目 冬季大会:スキー競技会 イ総合開会式の実施 ウ.激励訪問 エ競技団体との協議	な生活の推進にも	1 7 9 0∟Cを日ば	1とし (開催		· 单位	20年度	01年度	00 Az mie	00.475.186	0.4 /17: 10/16
〇県民体育大会選手派遣					12	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
ア県民体畜大会に出場する選手に対し、派遣等に係る経費の一部を補助 イ激励訪問 (この事務事業は、誰、何を対象にしているのか。※人や物、自然資源など)			i 民で競技スポ		る人数(体 .					
市民で競技スポーツに従事している人			会員数より)) TC (C + O C V	37,5K(FF)	8, 688	8, 622	8, 750	8, 800	9, 00
対 象		→ 象 ②								
*		標								
		3								
<平成21年度の主な活動内容>		(I) #	i民体育大会の	参加	,	4, 085	4, 023	3 4, 375	4, 400	4, 40
〇市民体育大会 ア. (財) 魚津市体育協会に委託:.夏季大会:19種目 冬季大会:スキー競技会 イ.総合開 激励訪問 エ.競技団体との協議	会式の実施 ウ.	活	以怀有人去切	<i>≫</i> /11 E 3X	1	4,000	4, 020	4,070	4, 400	7, 10
手 ○県民体育大会 ア、開会式への参加、激励訪問 イ、県民体育大会選手派遣:出場選手に対し、交通費の一音 段 *平成22年度の変更点	8を補助	■ 動 ② 県	民体育大会の	参加者数(延べ人	数) 人	781	772	800	800	80
支出予算を委託料だけにして事業を全面的に魚津市体育協会に委託する。		標								
		3								
(この事務事業によって、対象をどのように変えるのか)		① 7	民体育大会参	加率(参加者数/ス	スポーツを 9	6 46.95	46.65	50.00	50. 00	50.0
ア、練習成果の発揮の場の提供(イ、競技力の向上)		成成	「っている人数	=競技スポーツ従	事者数)					
		₩ 2 9	民体育大会の	順位:一般	位	<u></u> ጀ	8	5	5	
		標				. _			_	
		(3)	民体育大会の	順位:中学	位	7	11	5	5	
~ 本策の目指すすがた> マーカー オールナ 神 トス・ はいたは - マ草・ナ		↑成果指	票が現段階で取	は得できていない場	合、その取得	方法を記入				
の ア. 市民の誰もが気軽にスポーツを親しみ、健やかに生きがいを持って暮らす お イ. 競技スポーツの感動が、まちに活力を与える										
果										
◆この事務事業開始のきっかけ (何年〈頃〉からどのようなきっかけで始まったか) 市民体育大会: 市発足 (\$27) 以来実施 県民体育大会は\$23以来実施			財	国・県支出金	(千円				0	
中氏体育八五:中元足(027)以不关心 宋氏体育八五(6020以不关心			源 (2)均	四万慎 この他(使用料・手数	(千円 数料等) (千円) (·	0	
			訳	一般財源	(千円	-		· · · ·	2, 500	
			A. 予算	草(決算)額((1)~(4)の	合計) (千円	2, 291	2, 250	2, 500	2, 500	2, 50
◆開始時期以後の事務事業を取り巻く環境の変化と、今後予想される環境変化(法改正、規制緩和、社会情勢の変化	化など)		①事務事	事業に携わる正規耶			2 2	-	2	
・ニュースポーツの導入により競技スポーツ人口が幅広い年代僧で実施されるようになった。 ・県民体育大会の実施方法の見直しを検討中(郡市対抗戦、国体予選等の見直し、開会式の実施方法): H19には県	・体単独の開会式・	ではなく、県民	はポレーー	事業の年間所要時間					900	
ク祭等を含めた合同開会式として開催 ・スキー競技会は市外(他県)で開催				:費(②×人件費単価 業に係る総費用(A					3, 785 6, 285	
- 競技スポーツ離れ (健康、レクリエーション志向の増加)				人件費単価	(円@時				4, 205	-,
◆市民や議会などからの要望・意見(担当者の私見ではなく、実際に寄せられた意見・質問などを記入)				他市の実施状況		ている内容又は把	握していない理問	由の記入欄)		
競技力の向上に向けた指導者養成が市民から望まれている。				把握している		育大会の実施の有	無(実施体制の記	詳細等は不明)		
					→					
			0	把握していない						

【目的妥当性の評価】

I H H J A H I L		
1. 施策への直結	度	(事務事業の施策の目指すすがたに対する直結度(対象・意図の密接度)とその理由説明)
● 直結度大		・スポーツを始めるきっかけやそれを継続することにつながる → 気軽に参加できる大会等の提供により幅広い年代層の方
○ 直結度中		説 が参加でき、生涯スポーツ社会の推進に繋がる。明・県民体育大会予選を兼ねている → ただし、県民体育大会の実施方法の変更が検討されており、この結果に基づき市民体
○ 直結度小		育大会のあり方を検討する必要が生じる
2. 市の関与の妥	当性	(民間や他の機関でも実施可能な事務事業か)
○ 法令などに	こより	D 市による実施が義務付けられている
★令などにめ、市によ		5義務付けはないが、、公共性が非常に高く、民間(市民・企業等)によるサービスの実施が不可能(又は困難)なた 実施が妥当
○ 民間でもも	t	ごス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実施が妥当
_		Nるが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小 (廃止) が妥当
0		艾しているので、市の関与を廃止が妥当
0 911-1110		4 0 1 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
根拠法令等を記え		
3. 目的見直しの:		(現状の【対象】と【意図】は適切か、また、見直す場合、その理由と内容を説明)
	説明	現状の対象と意図は適切であり、見直しの余地なし。
【有効性の評	(価)	
4. 成果向上の余	地 (成果の向上が今後どの程度見込めるか説明)
	1	指導者養成等でアスリートの資質向上を図ることにより、県民体育大会の順位向上に繋がる。
	説明	
- \http://www.articles		↑ L M 林田 パウンフ T が M のよう A か の本数本表 の ナ M (12 5 林田 パウンフ 1 2 7 1 2 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
5. 連携すること		今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無(どう効果が高まるか説明) 連携が考えられる事務事業(県民体育大会の順位向上に向けて)
	説	(東方が今人の小の中が手来)(東氏体育人会の順位向上に向けた) ・市民スポーツ大会、教室の開催事業、競技人のの増加 市民体育大会参加者の増加 → 競技力の向上 選手強化対策事業 → 競技力の向上 富山県スポーツエキスパート派遣事業 → 中学生の競技力の向上
【効率性の評価	i]	
1777 T III III III	-	地 (手段を工夫することで、事業費を削減できないか説明、できない理由も説明)
1,113,1		22年度より魚津市体育協会に完全委託することで、借上げ料(会場使用料が主)等で削減が可能。
	説明	
7. 人件費の削減	もの 4	会地(今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、できない理由も説明)
7. 八円真切削褥		・市民体育大会夏季大会、冬季スキー競技会の体育協会完全委託することで人件費の削減が可能。
	説明	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	91	
I A TITLE A STITE		
【公平性の評価】		#. 5 A. D. 10日本5 日本1 A. D. 14 A. D. D. 14 A. D
8. 受益者負担の		化の余地(過去の見直しや社会経済状況等から) 相応の大会参加料を徴収し、大会経費は参加料が占める
	説	旧ルリハム参加村で現状し、人本整質は参加科か白のの
適正化の余地なし	明	
9. 本市の受益者	負担	の水準(県内他市と比較し、今後のあり方について説明)
高い		受益者の大会参加料は適正であると認められる
■ 17 ±5	説明	
○低い	91	
○ PA V ·		

【必要性の評価】

-	
0.	社会的ニーズ (この事務事業にどれくらいのニーズがあるか)
	○ 全国的又は広域的な課題であり、ニーズが非常に高い
	○ 市固有の課題であり、なおかつ市民などのニーズが非常に高い
	○ 比較的多くの市民などがニーズを感じている
	● 一部の市民などに、ニーズがある
	○ 一部の市民などに、ニーズがあるが、それが減少しつつある
	○ 目的はある程度達成されている
	○ 上記のいずれにも該当しない
1.	事務事業実施の緊急性
	○ 緊急性が非常に高い
	○ 緊急に解決しなければ重大な過失をもたらす
	○ 市民などのニーズが急速に高まっている
	● 緊急性は低いが、実施しなければ市民生活に影響が大きい
	○ 緊急性が低く、実施しなくても市民サービスは低下しない

★ 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 評価結果の総括		
① 目的妥当性	● 適切	○ 目的廃止又は再設定の余地あり
② 有効性	適切	● 成果向上の余地あり
③ 効率性	適切	● コスト削減の余地あり
④ 公平性	● 適切	○ 受益者負担の適正化の余地あり
(a) A see front front	1 1 1 1 1	

	効学性	O M 90	● コスト削減の未地め	,
	④ 公平性	● 適切	受益者負担の適正化の	余地あり
)	今後の事務事業の	方向性		
	○ 現状のまま	(又は計画どお	5り)継続実施	年度
	○ 終了	○ 廃止	〇 休止	
	● 他の事務事業	巻と統合又は連	携	

○ 目的見直し

● 事務事業のやり方改善

★改善	革・改善案 (いつ、どのような改革・改善を、どういう手段で行うか)	コストと成果の方向性
		県民体育大会の実施方法の見直しの方向性を把握 → 市民体育大会への対応を検討 県体派遣補助の適正化を協議	コストの方向性
	次年度	崇体派追補助の適正化を励 議	
	(平成23		削減
実施	年度)		Hi ///
子			
定時		県体派遣助成金の適正化(ただし、見直しが必要になった場合)。また、大会に幅広い年代層が 参加できるニュースポーツの導入を検討。	成果の方向性
期	中·長期的	少加してるーユースパーノの存入を検討。	
	(3~5		向上
	年間)		1417

★課長総括評価(一次評価)	
市民体育大会は、日ごろの練習の成果を発揮できる身近な大会であり、今後も開催していくべきであるが、大会参加料及び県 民体育大会の選手派遣助成金等(受益者負担)の見直しの検討を要する。	二次評価の要否
	不要

平成 22 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 21 年度分に係る評価)

事業コード 32201302

【1枚目】

001100601

予算科目 コード3

	事務事業名 全国スポーツ・レクリエーション祭事業	部名	等	教育委員会事務	务局	政策の柱第3章 ノ	・文化	を育むまち		会計 一般会計	,	
	予算書の事業名 全国スポーツ・レクリエーション祭事業	課名	等	生涯学習・スポー	-ツ課	政 策 名第2節 地	也域に根	ざした文化とスポ	ペーツの振興	款 10. 教育費		
	事業期間 開始年度 昭和27年度 終了年度 当面継続 業務分類 5. ソフト事業	係 名	等	スポーツ係	施 策 名 2. 生涯スポーツ社会の推進					項 6. 保健体育費		
	実 施 方 法 ○ 1. 指定管理者代行 ○ 2. アウトソーシング ● 3. 負担金・補助金 ○ 4. 市直営	記入者氏	名	片山伸二		区 分スポーツへ	への参加な	機会		1. 保健体育総務費		
		電話番	号	0765-23-104	6	基本事業名 拡充	レクリ:	ローションの参加	1・活動機会の			
		<u> </u>				ш			J			
1	事業概要(どのような事業か)		. 4.		. ^	- # **** 18-		集	経績		計画	
	23回全国スポーツレクリエーション祭が平成22年度に富山県で開催されるに当たり、21年度はリハーサル大会を9 市ではフリー参加種目として家庭婦人バレーボールとベタンク競技が開催される。	美施するもの。な	æ.	本大会では畠山県	《全市町村"	ぐ谷競技が実施され、 無	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
	(この事務事業は、誰、何を対象にしているのか。※人や物、自然資源など) 全国スポーツ・レクリエーション祭に参加する家庭婦人バレーボールチーム及びベタンクチーム			① 家庭婦.	人バレーボ	ールチーム数	団体		22	48		
対象			-	→ 象 ② ペタン: 標	クチーム数		団体		128	128		
				3								
	<平成21年度の主な活動内容> リハーサル大会を開催及び実行委員会設立(平成21年5月19日設立総会) ・家庭婦人バレーボール・リハーサル大会 期日・平成21年5月24日(日) 会場・ありそドーム			① 家庭婦 . 活	人バレーボ	一ル参加者数	٨		198	613		
手段	・ 水を カー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		-	動 ② ペタン:	ク参加者数		٨		384	384		
	22年度は本大会開催			3								
	(この事務事業によって、対象をどのように変えるのか) 大会を通じて各県の参加選手が交流を深めることで、全国のチームのネットワーク化を図る。			① 家庭婦	人バレーボ	一ル参加県	数		1	20		
意図				● 果 ② ペタン:	ク参加県数		数		1	9		
				3								
その	<施策の目指すすがた> ア. 市民の誰もが気軽にスポーツを親しみ、健やかに生きがいを持って暮らす			↑成果指標が現	段階で取得	できていない場合、そ	の取得力	法を記入				
結果												
*	■ この事務事業開始のきっかけ(何年〈頃〉からどのようなきっかけで始まったか)			<u> </u>	(1)国	・県支出金	(千円)	0	0	0	0	
平	成19年度に県から開催について依頼があり、併せてバレーボール、ペタンクの競技団体より魚津市開催の要望が	あった。			源 (2)地方		(千円)	0	Ū	_	0	
					計尺)他(使用料・手数料等)	(千円)	0	·	_	0	
					1 - , ,	受財源 ************************************	(千円)		150			
	開始時期以後の事務事業を取り巻く環境の変化と、今後予想される環境変化(法改正、規制緩和、社会情勢の変・	(l∠+s U)				快算)額((1)~(4)の合計) 業に携わる正規職員数	(千円)		150			
	開始時別以後の事務事業を取り合く環境の変化と、う後月恋される環境変化(伝以正、残間破相、任芸旧男の変 式種目は各県より選抜されたチーム、個人が参加するため正確な人数が掌握できるが、当市開催種目はフリー参)		会直	前でないと参加		業の年間所要時間	(時間)		400	-		
	数の把握がこんなんである。				0 1 01 1	(②×人件費単価/千円)	(千円)		1, 682			
						こ係る総費用 (A+B)	(千円)		1, 832			
						人件費単価	(円@時間)		4, 205			
*	市民や議会などからの要望・意見(担当者の私見ではなく、実際に寄せられた意見・質問などを記入)				◆県内他	市の実施状況	把握して	いる内容又は把	握していない理由	日の記入欄)		
全	国から多くの方が来市されるため、もてなしについて十分な協議が必要。				◆ ‡	□握している	町村体育	「大会の実施の有	無(実施体制の記	詳細等は不明)		
					O #	型握していない						

部・課・係名等 コード 1 08030300 政策体系上の位置付け コード 2

322012

【目的妥当性の評価】

T 日 日 J 及 ヨ L º 7日							
1. 施策への直結度	(事務事業の施策の目指すすがたに対する直結度(対象・意図の密接度)とその理由説明)						
直結度大	・気軽に参加できる全国大会等の提供により、スポーツを通じた交流が生涯スポーツ社会の推進に繋がる。						
● 直結度中	明						
直結度小							
2. 市の関与の妥当性	: (民間や他の機関でも実施可能な事務事業か)						
○ 法令などによ	り市による実施が義務付けられている						
○ 法令などによる義務付けはないが、、公共性が非常に高く、民間 (市民・企業等) によるサービスの実施が不可能 (又は困難) なた め、市による実施が妥当							
■ 早間でもサー	ビス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実施が妥当						
_							
	○ 市が実施しているが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小(廃止)が妥当○ 既に目的を達成しているので、市の関与を廃止が妥当						
○ 风に日的を建	以しているので、中の例子を廃止が女日						
根拠法令等を記入							
	! (現状の【対象】と【意図】は適切か、また、見直す場合、その理由と内容を説明)						
	現状の対象と意図は適切であり、見直しの余地なし。						
説							
なし							
【有効性の評価							
	(成果の向上が今後どの程度見込めるか説明)						
	大会PRを強化することにより、本大会での数多くのチームの参加が望める。						
	NAME OF THE PARTY						
あり説明							
1973							
	今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無(どう効果が高まるか説明)						
	継続する大会ではないので、連携する事務事業はなし。						
説							
なし明							
【効率性の評価】							
6. 事業費の削減の余	(地 (手段を工夫することで、事業費を削減できないか説明、できない理由も説明)						
	全国大会のため、会場設営費、もてなしなど多額な支出が考えられるため削減の余地はなし。						
なし 説 明							
-01							
- 1 M = 1 - 1 M > 1 -	A bit /A = Meshaper i = () = () i = ()						
	余地(今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、できない理由も説明) 中に手具会がよった。						
	実行委員会形式により大会準備、運営を行うが、事務的な業務はほとんどがスポーツ係で遂行するため、膨大な事務量を考えると 削滅は不可能である。						
た」 説	Handle 1 - Alle Con de						
明明							
【公平性の評価】							
8. 受益者負担の適正化の余地(過去の見直しや社会経済状況等から)							
特定受益者あ	相応の大会参加料を徴収することと、市、県の補助金を含めて大会運営費を賄う。						
り・負担あり説							
明							
適正化の余地なし							
9. 本市の受益者負担の水準(県内他市と比較し、今後のあり方について説明)							
	の水準 (県内他市と比較し、今後のあり方について説明) 受益者の大会参加料は適正であると認められる						
○ 高い	ス重古ックスツルイは旭氏にのるに認められる						
● 平均 説							
明							
○ 低い							

业	要性の評価	ā]					
10.	社会的ニーズ (この事務事業にどれくらいのニーズがあるか)						
	○ 全国的∑						
	○ 市固有の						
	○ 比較的多	多くの市民などがニー	-ズを感じている				
	● 一部の市	方民などに、ニーズス	ぶある				
	○ 一部の計	方民などに、ニーズス	ぶあるが、それが減少しつつある				
	○ 目的はお	ある程度達成されている。	\S				
	○ 上記のい	ヾずれにも該当しない	`				
11.	事務事業実	施の緊急性					
	-	ぶ非常に高い					
		Ⴏ 決しなければ重大ν	·· ···· · · · · · · · · · · · · · ·				
	•	どのニーズが急速に					
			ければ市民生活に影響が大きい				
	○ 緊急性が	が低く、実施しなく [*]	[も市民サービスは低下しない				
	that feet to be tree	10 let 1 6 to - 1 t bl					
		総括と今後の方向性					
(1	評価結果		O PART TO THE O Aller In				
	① 目的妥		○目的廃止又は再設定の余地あり				
	② 有効性	○適切	● 成果向上の余地あり				
	③ 効率性	●適切	○ コスト削減の余地あり				
/6	④ 公平性	●適切	○ 受益者負担の適正化の余地あり				
(2	(2) 今後の事務事業の方向性						
	○ 現状のまま(又は計画どおり)継続実施 年度 ○ 終了 ○ 廃止 ○ 休止						
	0,11	0 00	○ 休止 連準				
	○ 他の事務事業と統合又は連携○ 目的見直し						
	● 事務事業のやり方改善						
	▼ サルサ木ツ / ///外口						
★改	★改革·改善案 (いつ、どのような改革・改善を、どういう手段で行うか) コストと成果の方向性						
7. 9.	- WOX	22年度で事業終了	- Wast C). / 100 th / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 10 / 1	コストの方向性			
	Vila Inc. phr			2.1.9为国伍			
	次年度						

★改	革・改善案	(いつ、どのような改革・改善を、どういう手段で行うか)	コストと成果の方向性
		22年度で事業終了	コストの方向性
実施予	次年度 (平成23 年度)		
定時			成果の方向性
期	中·長期的 (3~5 年間)		

x課長総括評価(一次評価)					
	二次評価の要否				